

社外からの評価



■ 2016年6月、サンデンホールディングス会長の牛久保雅美がイタリア共和国功労勲章を受章しました。この勲章はイタリア内務省からイタリアのために特に功労のあった人、企業に授与されるもので、Sanden Vendo Europe S.p.A.とSanden International (Europe) Ltd. Sanden Vendo Italyの業績、経済発展や地域社会に貢献したことが評価されました。



■ 2015年9月、インド自動車部品工業会ACMA(The Automotive Component Manufacturers Association)より製造部門で金賞、人事部門で銀賞を受賞しました。



■ 2015年10月、東京商工会議所主催の「eco検定アワード2015」のエコユニット部門で優秀賞を受賞しました。



■ 2016年2月、ボルボ社様より2016年サプライヤー・アワードを受賞しました。コンプレッサー事業におけるグローバルなパートナーシップおよびコスト改善が評価されました。



■ 2016年6月、全日本選抜QCサークル大会(小集団改善活動)の第9回事務・販売・サービス(含む医療・福祉)部門において赤城事業所の電子工場に所属する「タイムズスクエア」サークルが金賞を受賞いたしました。

社外取締役からのコメント

サンデンの環境を軸にした経営について

社外取締役 法木秀雄 (元早稲田大学経営大学院教授)



私がサンデンの経営に関わる1年前のことですが、大学院のゼミ生15名と共に当社のサンデンフォレスト・赤城事業所を見学する機会に恵まれました。その際、自然環境と生産活動が見事に調和している姿に心から感銘を受けたことが、当社の経営に関わることになったきっかけでもあります。サンデンフォレスト・赤城事業所が素晴らしいのは、事業所全体が自然環境との共存というレベルを超えて、もともとあった植生や生物を再生させ、さらに豊かにしながら、汚染物質を一切排出することなく、生産に伴う端材もすべてリサイクルし、環境性能に優れた自販機などを5Sが実践された製造ラインで生産していたことです。

多くの見学者の心を動かすのは、第一に高名なナチュラルリストであるC・W・ニコル氏にそのデザインコンセプト創りを全面的に依頼し、その理念に沿って細部に至るまで、事業所全体を極めて高い次元で環境と生産活動の調和を実現させたこと。第二にその見事に再生した生態系

を地域の小中学生や保護者に野外学習の場として提供してきたこと。第三に稼働後十数年にわたってきちんとしたメンテナンスが行われ、希少な昆虫などが戻ってきていることです。

また、年間の見学者は15,000人を超えてきています。当社の経営理念の理解が深まり、ゆくゆくは当社の社員や株主あるいは顧客など、当社の大事なステークホルダーになっていただく誘因ともなります。

今日、多くの企業はCSR(企業の社会的責任)を意識して活動していますが、中には企業イメージ向上を意識した「受け身」の姿勢も見受けられます。当社は早くから「優れた環境価値の創造」を製品開発から生産など企業活動すべてにおいて実現させる努力を続けてきました。いわばCSRの実行はその結果であるということです。

経営学で著名なハーバード大学のマイケル・ポーター教授が2011年に、CSRを超える「あるべき企業活動の行動理念」としてCSV(企業共有価値)という概念を提唱しました。当社は同教授の提唱以前からCSV経営を実践してきているといえます。